

# NPO 通信

〈NPOの運営は、運営世話人をはじめとする受講生のみなさんの力で成り立っています。〉

早いもので、2009年度後期の講座もいよいよ大詰めとなりました。2010年度前期の「募集案内チラシ」もお手元に渡り、どれもこれも魅力あふれる講座が目白押しで、さてどの講座を受講しようかと頭を悩ませている事と思います。いつもの講座に加えて、プラスワンの講座で新たな知の世界を覗いてみませんか。

## 2010年度前期のカリキュラムについて

和田あき子学長 記

2009年度かわさき市民アカデミーの最終的なべ受講生数は5253人でした。これまでの最高であった2003年の5449人について史上2番目に多い数で、前年に比べて約300人、前々年に比べればほぼ600人の増となっています。NPO理事会、事務局を中心とした運営体制もこの1年の間に格段に整ってきたのが感じられ、第2次高揚期ともいえる状況の中で2010年を迎えることができました。

2010年度のカリキュラム編成に当たっては、アカデミーの置かれている状況も考慮しながらそれぞれコーディネーターの先生方に努力をしていただきました。系統的、持続的な学習をモットーにしている多くの講座・ワークショップでは内容も講師陣も継続性を重視しながらの編成となっております。川崎学歴史・自然、人間学、文学、映像などでは新しいテーマを取り入れ、現代事情では「政権交代」について専門家の講義を入れしました。NPO企画によるシリーズ講座としてエクセレントⅠ「世界の旅」に続いて今年はエクセレントⅡ「世界の宗教」を新百合会場で立ち上げます。第一弾は関心の高いイスラーム教です。

NPOへの移行措置の関係でこれまでの講座に変更が生じました。夜間講座は、ワークショップとして夜間開催を継続する「美術」を除いて、休止します。ボランティア、土曜講座、特別講座の一部はステップアップ講座として継続します。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

2月22日の「受講生のつどい」では多くのみなさんとお目にかかれることを楽しみにしています。この1年を振り返り、率直な意見・感想をいただきたいと思ひます。

## 理事会報告 (詳しくは、議事録をご覧ください)

### 「臨時理事会」 2010年1月14日

中期経営計画についてそれぞれの理事、評議員が事前に送った意見を集約したものを元に、2011年度、自主独立に向けての審議が行われました。中期経営計画検討委員会を立ち上げて次期理事会(2月17日開催)に諮り決定します。

## —受講生のつどい—

2月22日(月)

午後2:30~4:45

生涯学習プラザ

401会議室



## 「募集案内チラシ」を身近な人たちに・・・

全講座・WSの内容が詳しく載っている全8ページの「募集案内チラシ」は、15万部作られました。新聞折り込みを中心に市内の公共施設、アカデミー会場などで配布しています。その他にNPOや個人で交渉し、町内会、マンションなどで配ってもらったり、川崎市内の企業内に置いてもらったりしています。NPO事務局にまだ余裕がありますので皆さんが他に参加しているサークルのお仲間、ご近所の方々、昔からのお友達など身近な人たちに10、20部あるいは2、3部ずつでも、「募集案内チラシ」を届けていただけませんか。ご協力お願いします。(大量の部数ご協力いただける場合、運送方法などご相談ください。)



### なぜ、広報部ができたのですか？

2011年度以降「かわさき市民アカデミー」がNPOによる自主運営になるという事は、ひとつの経営体として健全に自立できなければならないということです。どこのNPOでも抱える課題が“ヒトとカネの不足”です。当NPOもこの問題に直面しています。自主運営の基礎を固めるために広報部を立ち上げました。

【目的】NPOの組織の活性化・受講生増加・財政の安定化

【目標】2010年度受講生数 10%増加（対前年度比）

【活動計画】

1. **内部広報の充実（NPO通信の月1回発行）**：理事、事務局を中心に行っている運営ですが、明らかに仕事量が多すぎて、ヒトが足りていません。実質的な講座の企画運営をしている世話人のこともこれから先どうなっていくのかとても心配な状況です。アカデミーを継続し、次の世代につなげていくためにはもっと沢山のヒトの力が必要です。NPOの状況を理解してもらい、活動に参加してもらえよう受講生向けの広報を充実していく必要があります。
2. **新規に外部広報（企業アプローチ）を行う**：新規受講生数がこのところあまり増えていないのが実情です。より多くの市民に「かわさき市民アカデミー」の存在を知ってもらい、受講してもらうため、一般の人たちに向けてアピールする必要があります。また、川崎市内の企業にスポンサーになってもらい連携したり、退職者の地域参加のきっかけにしてもらうため法人に向けてアピールをしていきたいと考えています
3. **各種情報を電子データで一元化し、ネットでの受講申し込みを将来可能にする**：パソコンがこれほどまでに普及した今、受講生の新規開拓、情報発信にインターネットは不可欠です。ホームページの充実と共に、申し込みの簡便化などを目指します。個人情報のセキュリティ対策を含めたシステム構築をするための予算が承認されました。またそれらを維持するための運用コストも今後予算計上していくことになります。

◇**広報部員はただいま20名です。**ホームページ及びエクセル、アクセス経験の方、募集しています。この分野に興味のある方、ご協力お願いします。

2010年前期、講座・WSのカリキュラムはこのような出来上がりでした。



各講座担当のコーディネーターと世話人が協力し、カリキュラムの企画が出されず。コーディネーターのいない講座は、和田学長が中心となり企画を出していただきます。それらを持ち寄って「カリキュラム企画編成委員会」で協議し、カリキュラムが決定されます。2010年度前期は、37の講座・ワークショップと3つのステップアップ講座（財団との協働）が立ち上がりました。

これらの講座・ワークショップの運営上の問題点の掘り下げと解決案の作成を「アカデミー講座・ワークショップ検討プロジェクト」で実施しています。この小委員会は、昨年2月に事業推進部会の発案で発足し、毎月1回開催されています。これまで世話人代表へのアンケート実施・報告、世話人選出のための話し合いを重ね、昨年11月には、「講座・ワークショップの運営ルール」を作成しました。来年度の課題は、ルールに外れた講座の改廃措置の問題解決、会員制度の見直しなどで、2011年度からのNPOの独立に向けて白熱した議論が展開されています。

【編集後記】 休眠中だったNPO通信。寝ぼけ眼で右も左もわからないままに再開しましたが最初の約束通り月に1回どうにか発行できました。ご協力ありがとうございました。事務アシスタントの皆さま、ボランティアで活躍いただき、本当にありがとうございました。おかげさまでチラシの印刷や折り込みなど、無事に終えることができました。一人一人の力が大きなものを作り上げる原動力になることを学びました。次回は、4月に！！Have a nice vacation！

編集責任者：林 朋子 田辺 初子

・NPOホームページでは、講座の様子、アカデミーについての情報を随時更新中です。ぜひ、ご覧ください。  
・ブックレット販売中！